

【11月30日（月）放送朝礼のお話】

早いもので、今日で11月も終わり、明日から12月です。

今週12月4日（金）～来週10日（木）は、人権週間です。

「人権」と言うのは、「人間が人間らしく生きる権利で、生まれながらに持っている権利」です。

もう少し分かりやすく言うと、「一人一人が自由で、安心して、安全に生活することができる権利」で、誰もが平等に与えられた権利です。

今日は、絵本の読み聞かせをしたいと思います。「人権」という観点を意識しながら聞いてくださいね。

（「さっちゃんのまほうのて」の読み聞かせ）

さっちゃんの手には、生まれつき、みんなと同じような5本の指が付いていませんでした。そのことで、いやな思いをしましたね。とても辛かったでしょうね。

この時、さっちゃんの人権は守られていたでしょうか。

でも、さっちゃんは、お父さんやお母さんの大きな愛情に包まれて、指がないその手を「人に力を与える魔法の手だよ!」と言われ、指がない手を受け入れ、ハンデを乗り越える強い気持ちをもつことができました。そして、周りのお友達も、指のないさっちゃんのことを優しく受け入れて、仲良く遊ぶことができるようになりました。

さっちゃんの人権は、ちゃんと守られるようになりましたね。

みなさんのクラスではどうですか。友達に嫌なことを言ったり、意地悪をしたりして、友達の人権を犯している人はいませんか？反対に、「自由に、安心して、安全に生活できていない友達」はいませんか？

この人権週間は、そんな観点で、自分のクラスや草平小学校を振り返ってみましょう。そして、みんなが笑顔で安心して学校生活を送れる草平小学校にしていきましょう。

校長先生のお話を終わります。